

初年次教育の指導

関西大学文学部

教授 森部 豊 氏

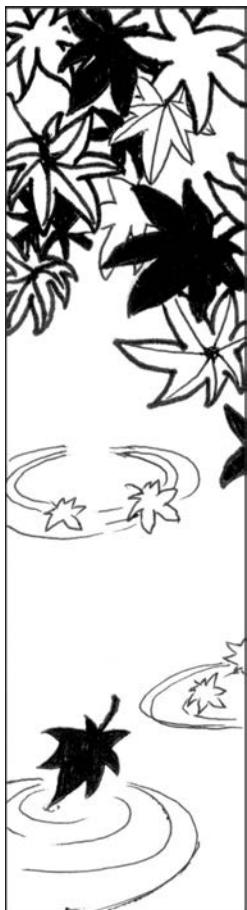


教育随想

私が所属している関西大学文学部は一学科制をとつており、入学した一年生は専門の分野（専修という）には分属していません。一年間、人文科学の様々な学問分野にふれ、二年生の時、自分が残りの三年間学ぶ専門を選んでもらいます。

文学部では、一年生向けに初年次教育科目を置いています。そのひとつに演習形式の科目があります。これは、学生が主体で、教員の役割は補助的なものです。私は世界史専修に所属しているので、「知へのパスポート（世界史）」を担当しています。高校の時に世界史が好きだった学生が、多く履修してくるのですが、歴史＝暗記科目と思っていた彼らの中にはカルチャーショックを受ける学生もいるようです。大学での歴史研究は、暗記ではないからです。

このクラスで私が指導するのは、テーマの設定、それを調べるための書籍の探し方、本の読み方・まとめ方、発表資料（主に紙ベース）の作成方法、口頭発表と討論の仕方などです。十名～十五名くらいの学生がいますので、ワンセメスターで一人あたり少なくて二回、できれば三回発表させます。初回発表の学生は、すべてに慣れていないため、発表資料の作成もプレゼンテーションも、不十分です。しかし、学生たちは次第に他人の発表のいいところ、改善すべきところを吸収し、回を重ねる



ごとに、すべてのスキルがアップしていくきます。

ただ、本の文をそのまま抜き書きしたり、あるいはネット情報をそのままコピーしたりする学生も少なくありません。その場合、出典を明記することや、匿名の記事は信憑性に欠けるので、鵜呑みにせず、その情報の根拠を示すように指導します。半年で完成するスキルでは無いのですが、四年後の卒業論文作成の時などのように成長しているか、毎年、楽しみにしています。

（もりべ ゆたか）



令和7年11月1日

11月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
関西大学文学部 教授 森部 豊 氏	
この人に聞く	2
名古屋音楽学校講師 マリンバ奏者	
近藤 幹夫 氏	
羅針盤	2
家庭科指導員 阿部 祐子	
ふれあい	3
細川小学校 教諭 齋藤 裕美	
特集	4
愛され活用してきた岡崎城公園 ～公園開設150周年～	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
健康安全教育(昭和57年)	
この本を	8

「自分が弾きたい曲を聴きに来てください、その演奏を受け入れていただけます。」
マリンバ奏者として仕事をつとめることで、心身ともに癒されます。私は、マリンバの魅力は音です。私は、

「自分が弾きたい曲を聴きに来てください、その演奏を受け入れていただけます。」
マリンバ奏者として仕事をつとめることで、心身ともに癒されます。私は、マリンバの魅力は音です。私は、

名古屋音楽学校講師
マリンバ奏者
近藤 幹夫 氏

音楽でつながる喜び



私は、演奏を通して、自分らしくいられる場をいただいています。マリンバ奏者として仕事ができることに感謝しています。—現在の活動で、大切にしていることは何ですか—

自分が伝えたいものを考えて演奏することです。

親子向けの演奏会では、依頼された曲だけでなく、オリジナル曲も演奏しています。このオリジナル曲は、母親の子供への愛をテーマに、グループのメンバーと協力して作った曲です。音楽ならば、普段言えない気持ちや、恥ずかしくて素直に伝えられたい思いを、みんなで楽しみながら共有できます。

ホスピスでは、患者さんのリクエストに応えて演奏することがあります。痛みを抱える方に負担をかけないよう、マリンバを手で叩き、小さな音にすることもあります。私の演奏で、患者さんを少しでも癒すことができればと思っています。



氏名 こんどうみきお
生年月日 昭和五六年
一月九日
住所 岡崎市康生町

音楽教室で教える子供たちには、「人と比較して評価が上か下かではなく、自分が表現したいものを考えて演奏することが大切だ」といつも伝えています。音楽は、強制さ

れてするものではなく、心を惹かれて、自分から選択してするものだと考へているからです。また、社会とどうつながるかを考えることも大切にしています。音楽があれば、生活はできますが、音楽がなくても生活はできませんが、音楽がついくことが、私の喜びです。—今後の展望をお願いします—

オーケストラでは、マリンバを演奏する機会があまり多くありません。加えて、マリンバを作るためには必要な木が地球温暖化の影響で育たなくなっています。今後もマリンバの魅力を届ける場や方法を模索し、多くの人にマリンバを知ってもらえるような活動をしていきたいです。私にとって、岡崎は大好きで大切な場所です。二十四時間いつでも音が出せる練習環境があるのも、魅力です。将来的には、岡崎市に、音楽を通じて人がつながる場所を作りたいと考えています。大好きなマリンバとともに、そこに自分がいたらと、夢見ています。

自分の価値観を再構築する家庭科の授業

家庭科指導員
阿部 祐子

家庭生活に関する価値観は、育ってきた環境によって多様である。自身の考え方を深め、広げることで、子供たちに自分の生活を工夫し、創造する力を育んでいくことができる。よりよい生活の実現に向け、様々な考えがあることに気付き、それぞれの価値観を再構築していく必要がある。A教諭は、中学校三年で「幼児の食事をどのように支えていくべきか」について考える授業を行った。導入で、品種改良により苦みをおさえたピーマンを食べる場を設けた。「これなら食べられるかな」とA教諭が問い合わせると、「甘味がある」という好意的な反応と、「これでも無理」との反応に分かれた。実際に口にしたことで素直な感想が引き出され、味覚は人それぞれなのだ



私は、Aさんに、算数の授業を楽しいと思えるようになつてほしいと願つた。教材研究にさらに力を入れたり、誰でも安心して発言できるよう、学級の温かな雰囲気づくりに努めたりした。しかし、Aさんの授業後の振り返りの言葉には、「難しかつた」や「分からなかつた」が並んだ。Aさんの「分からんから、もうやだ」は、学習内容の理解が不十分のため、チームのみんなが話している内容がよく理解できず、話し合いに参加できないからではないかと考えた。

私は、Aさんが諦めずに取り組んでいた計算式や考え方の跡を見つけ

六年生に進級してからというものの、算数の時間にAさんが口にするのは、「分からんから、もうやだ」

「分からん」から「楽しい」へ



では、「ここまで考え方は正解だよ」「これに気付いたのはさすが」と褒め、励まし続けた。

ある日の算数の時間。チームで問題の解き方を考え、解法を発表し合う場で、Aさんの表情が一変した。「Bさんが言っていることがすごく分かりやすかった。すごいなBさん。」

これまでの沈んだ表情が、輝く表情に変わっていた。私は、「Aさんも、この問題についてたくさん考えたから、Bさんの言つてることが分かつたんだよね。」

その後の授業でも、Aさんの「分
と、伝えた。Aさんは、少し照れく
さそうに笑顔を見せた。

からん」は、よく聞こえてきた。そ
のたびに、私は、
「まずは、Aさんの考えを伝えてご
らん。うまく言えなくとも大丈夫。
みんながちゃんと聞いてくれるよ。」
と、Aさんに声をかけ続けた。

次第にAさんは、「ああ。どうやつて伝えたらいいんだろう。えつと。つまりね。」

と、何とか自分の言葉で考えを伝えようとする姿に変わってきた。Aさんは言葉で告までのことは、

「Aさんが言おうとしていることって、何だろう。みんなで考えてみて。」

と、私は、チームにそつと声をかけ
るようになつた。そんな声掛けを続け

ていくうちに、
「先生、待つて待つて。もう少し時
間がほしい。もう一回みんなに説明
させて。」

と、Aさんは、粘り強く懸命に伝えようとすることが多いなった。
「いいね。聞きたいた。聞かせて。」
「みんな、もう一度話すから、ちやんと聞いててよ。」

二学期も終わろうとしていたころ、私は、Aさんに声をかけた。

「最近、算数、楽しくてしようがな
いんじゃない。」
「うん。体育の次に、楽しい。」

満面の笑みで答える、Aさんがい
た。

A young boy with dark hair is sitting at a table, looking down at an open book. He is holding a pen and writing in a notebook. The book is open to a page with various sections and text. The boy is wearing a dark long-sleeved shirt.

次に、生徒自身の乳幼児の頃の様子や、関係団体への取材などの一人調べを基に考えを共有した。苦手な野菜を「食べられるようにする」と考える側と、「ストレスになるから無理に食べさせなくてもよい」と考える側に分かれた。A教諭は、「好き嫌いに対する考え方の違いで生徒の立場が異なると捉えた。そして、それまでの考え方の違いに迫るため「好き嫌いはいい、それともだめ」と聞き嫌いはいい、それともだめ」と問い合わせを焦点化させた。「好き嫌いはみんなある。悪いことではない」と、好き嫌いを肯定する意見が出た。これに対し、栄養や将来の食習慣の視点から否定的であった生徒が、「好き嫌いは誰にでもあることかもしれない」と、考え方を広げる姿があつた。

そこで、A教諭は、「工夫しても食べてもらえず、悩み、今は我が子と食事を楽しむことにした」と語る。育児中のの方の動画を提示した。生徒は、幼児の思いや栄養などの多様な視点に加え、「その子に合った対応が大事」と、向き合う相手に合った方法を選択するという新たな考え方をもつた。

仲間や、その分野に詳しい人の考えに触れることで、子供たちは新たな視点に気付き、価値観を再構築する。それが、よりよく生きる道を切り拓く力になる。



▲【昭和初期】岡崎公園（現岡崎城公園）内で毎年行われていた小学校連合運動会（岡崎地方史研究会蔵）

徳川家康公の生誕地として知られる岡崎城。その城跡と周辺は、一八七五年（明治八年）に城郭の遺構を生かした「岡崎公園」として整備が始まった。以来一五〇年間、公園は市民が憩い、歴史に親しむ場として歩みを重ねてきた。

一八八〇年（明治十三年）には、園内（現在の花時計から駐車場辺り）に県立岡崎病院が、一九二三年（大正十二年）には、現在の家康館の場所に図書館が建設された。子供たちは、ここで病院に通つたり、本に親しみ、知識の世界を広げたりした。また、戦前の公園内の運動場では、小学校連合運動会が毎年開かれ、多くの子供たちが元気に駆け回った。その光景は、地域の教育と文化を結びつける象徴的な行事として市民に親しまれた。しかし、一九四五年（昭和二十年）の岡崎大空襲により市街地は壊滅し、県立岡崎病院や図書館も失われた。

その後、園内は復興へ歩み出した。一九五八年（昭和三十三年）には二の丸に動物園が開かれ、子供たちの笑い声が戻ってきた。翌年には岡崎城の天守が復興され、さらにその翌年には、花時計や洋風庭園が整備された。

一九六三年（昭和三十八年）の「花と産業科学大博覧会（通称・岡崎博）」では、現在の龍城橋周辺に遊園地が開園された。公園での大きな催しは地域を活気づけ、多くの子供たちが目を輝かせた。また、公園内にあつた運動場では、岡崎市中学校総合体育大会も行われていた。総合開会式において、城郭の石垣を背景に行進する生徒の姿は、一致団結の象徴として、人々の心に今も刻まれている。

地域の文化と教育を結び、市民に愛され続けた「岡崎公園」は、令和六年に「岡崎城公園」と名称を変え、新たな歩みを始めている。

明治・大正 「岡崎公園」のはじまり



▲【大正12年】県立岡崎病院
(岡崎市所蔵「県立岡崎病院前」)

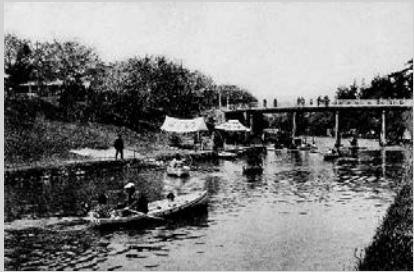


▲【大正12年】公園内の図書館
(岡崎市所蔵「岡崎市立図書館」)



▲【大正13年】体育運動場完成
(岡崎市所蔵「岡崎公園グランド開場式」)

昭和 懇いの場として整備



▲【昭和初期】竹千代橋の貸しボート
(岡崎パブリックサービス)



▲【昭和30年頃】学校遠足の様子
(岡崎市所蔵「遠足で岡崎公園藤棚へ」)



▲【昭和33年】公園内の動物園
(岡崎市所蔵「岡崎公園動物舎」)



▲【昭和35年】花時計完成
(岡崎市所蔵「岡崎公園花時計」)



▲【昭和38年】公園内の遊園地
(岡崎市所蔵「岡崎公園遊園地01」)



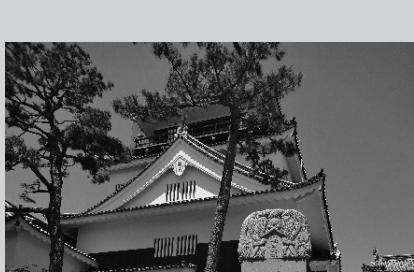
▲【昭和57年】市総体の入場行進
(美川中S57卒業アルバム)

平成・令和

「岡崎公園」から「岡崎城公園」へ



▲【平成24年】岡崎公園ガイドへの取材
(大樹寺小 H24研究紀要)



▲【平成25年】5・6年社会見学
(常磐南小)



▲【平成26年】絵を描く会
(連尺小)



▲【平成28年】河川美化活動「大ねずみ」
(城北中)



▲【平成25年】5・6年社会見学
(常磐南小)



▲【令和6年】岡崎城内での調べ学習
(梅園小)



▲【令和6年】岡崎城下家康公秋祭り
(岡崎パブリックサービス)



▲【令和7年】二の丸能楽堂 ダンス
(岡崎パブリックサービス)



▲【令和7年】岡崎戦国謎解きゲーム
(岡崎パブリックサービス)

~~~~~ 令和7年度 第1回岡崎市中学生体育大会 Autumn CUP 最終結果 ~~~~

種目	性	優勝	2位	3位	種目	性	優勝	2位	3位
陸上競技	男	岡崎SOUTH	岡崎MUTSUMI	岡崎葵城	剣道	男	岡崎WEST A	岡崎CENTRAL A	岡崎竜美A
	女	岡崎CENTRAL	岡崎竜美	岡崎SOUTH		女	岡崎WEST A	岡崎WEST B	岡崎MUTSUMI
バスケットボール	男	岡崎WEST A	岡崎葵城A	岡崎MUTSUMI	ハンドボール	男	岡崎SOUTH	岡崎CENTRAL	岡崎WEST
	女	岡崎竜美A	岡崎NORTHA	岡崎SOUTH C		女	岡崎ALL		
バレーボール	男	岡崎CENTRAL	岡崎MUTSUMI	岡崎EAST A	軟式野球	岡崎SOUTH A	岡崎EAST A	岡崎MUTSUMI B	岡崎NORTH A
	女	岡崎CENTRAL A	岡崎WEST A	岡崎WEST B		女	岡崎NORTH		
ソフトテニス	男	岡崎WEST	岡崎EAST	岡崎CENTRAL	柔道	男	岡崎WEST		
	女	岡崎WEST	岡崎SOUTH	岡崎EAST		女	団体戦は実施せず		
卓球	男	岡崎WEST	岡崎葵城	岡崎SOUTH	サッカー	岡崎SOUTH A	岡崎竜美A	岡崎EAST	岡崎NORTH
	女	岡崎WEST	岡崎竜美	岡崎SOUTH		男	幸田北A	幸田北C	幸田北D
					弓道	女	岡崎IA	幸田北A	幸田北B

個人競技（1位記録のみ）

男子				女子			
種目	氏名	チーム名	記録	種目	氏名	チーム名	記録
100m	嶋田 知広	岡崎葵城	12"0	100m	澤田 藍疏	岡崎WEST	13"5
200m	榎尾 勇太	岡崎MUTSUMI	25"3	200m	清水 明	岡崎WEST	27"4
400m	中村 流快	岡崎NORTH	53"60				
800m	高橋 聰汰	岡崎SOUTH	2'13"04	800m	徳山 蓮奈	岡崎葵城	2'26"47
1500m	樋木 快心	岡崎MUTSUMI	4'23"90	1500m	柴田 和佳	岡崎竜美	4'49"84
3000m	樋木 壱心	岡崎MUTSUMI	9'39"49				
110mH	田畠 伊織	岡崎SOUTH	17"43	100mH	川瀬 彩葉	岡崎竜美	15"2
4×100mR	青木・杉山 外間・袴田	岡崎SOUTH	46"92	4×100mR	近藤・神田 鈴木・森田	岡崎CENTRAL	51"72
走高跳	市川 漢	岡崎MUTSUMI	1m65	走高跳	森田 あお	岡崎CENTRAL	1m45
棒高跳	藤根 大空	岡崎MUTSUMI	2m40				
走幅跳	深見 泉嘉	岡崎NORTH	5m56	走幅跳	近藤 彩	岡崎CENTRAL	4m91
砲丸投	林 琉恩	岡崎葵城	9m81	砲丸投	浅田 優空	岡崎SOUTH	8m45

◆柔道		
男子	階級	氏名
	軽量級	小笠原 新
	軽中量級	中村 優里
	中量級	田中 瑠大
女子	重量級	太田 匠政
	軽量級	榎島 沙月
	軽中量級	竹本 華乃
	中量級	上別府柚菜

◆弓道		
男子	氏名	チーム名
	曾根 彰太	幸田北
◆ソフトテニス		
男子	氏名	チーム名
	加藤・大沼	岡崎WEST
女子	氏名	チーム名
	石川・太田未	岡崎WEST
◆卓球		
男子	氏名	チーム名
	岡本 好佑	岡崎WEST
女子	氏名	チーム名
	小堀 莉奈	岡崎SOUTH

~~~~~ 令和7年度 岡崎市小学校体育大会 ~~~~

競技		優勝	第2位	第3位
ソフトボール	男子	北 広輔	大門	矢作東 北野
		東 男川	常磐南	竜美丘 本宿
		南 三島	矢作南	城南 羽根
バレーボール	女子	矢作南	速尺	広輔 大門
		男子	矢作南	矢作東 細川 梅園
		北 矢作北	大門	井田 北野
バスケットボール	女子	東 根石	男川	豊富 細川
		南 羽根	矢作南	福岡 六ツ美中部
		北 井田	北野	矢作北 根石
サッカー	男子	南 六名	矢作南	三島 竜美丘
		北 井田	北野	岩津 矢作北
		東 三島	小豆坂	竜美丘 竜谷
陸上	女子	南 六名	六ツ美南部	六ツ美西部 羽根
		北 井田	六名	細川 大樹寺
		南 六ツ美南部	岡崎	上地 竜美丘
		男子	井田	緑丘 恵田
		女子	井田	岡崎 緑丘

~~~ 第63回 岡崎市小学校陸上競技大会 ~~~

種目			氏名	校名	記録
男子	1位	井田			100m 比澤 龍心 恵田 13"53
	2位	緑丘			5年100m 堀口 大翔 井田 14"63
	3位	恵田			1000m 堀口 瑞久 緑丘 3'04"75
女子	1位	井田			80mH 横田 圭亮 緑丘 12"96
	2位	岡崎			4×100mR 西・川合 藤川・河合 井田 54"83
	3位	緑丘			走高跳 西 優成 井田 1m30
女子					
女子	1位	井田			走幅跳 佐々木 快 下山 4m24
	2位	岡崎			100m 飯野 梓 井田 14"99
	3位	緑丘			5年100m 鈴木えみり 山中 13"75
女子	1位	井田			1000m 山崎菜奈実 緑丘 3'32"75
	2位	岡崎			80mH 花田 悠加 井田 15"28
	3位	緑丘			4×100mR 丹羽・内田 山崎・小林 緑丘 1'00"11
女子	1位	井田			走高跳 松平 彩花 井田 1m35
	2位	岡崎			走幅跳 松崎 彩夏 岡崎 3m43
	3位	緑丘			小学混合4×100mR 黒川・元田 福田・加藤 岡崎 1'02"27



教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

相談窓口	電話番号	相談受付日時	あいちこころのサポート相談(SNS)
岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30	
あいちこころのサポート相談(SNS)	右QRコード	月曜日～土曜日 20:00～24:00 日曜日 20:00～翌月曜日 8:00	LINE 友だち追加・ID検索 @aichi_soudan
愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～17:00	
あいちこころのホットライン365	052-951-2881	年中無休 9:00～20:30	
愛知いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間	



健康安全教育 (昭和57年)

写真提供：秦梨小学校

児童たちが、みごとな前後開脚を披露している。昭和五十七年、「精いっぱいやりぬく逞しい子」をめざす健康安全教育」を掲げた研究発表会の様子である。

秦梨小学校では、子供の健康安全を柱とした教育活動が受け継がれている。主な活動としては、体力向上をねらった持久走の取組、安全意識を育むための自校実施による交通安全教室等である。当時の研究実践を深化・発展させながら、「逞しい子」の育成に取り組んでいる。

心身ともに健康で、たくましく生きる子供の育成は、学校教育の根幹である。令和を生きる子供たちに必要な健康安全教育について考え、実践していきたい。



本丸を包むように、子供たちの元気な笑い声が岡崎城公園に響く。四季折々の自然に彩られた公園は、憩いの場として多くの人々に親しまれてきた。天守や石垣といった歴史的な風景と共に、様々な世代のそれぞれの思い出が、重ねられている。子供たちの「ふるさと岡崎」への郷土愛は、こうした環境から育まれていく。

特等席で、マリンバの演奏を聴かせていただいた。近藤さんが弾くマリンバの音は、柔らかくてきめ細かく、心地よい。体全体を包み込む深い響きがあった。

演奏を生で聴くことで、楽器の魅力をより強く感じることができる。子供たちが、本物のすばらしさを実感できる機会を大切にしていきたい。

霜 目



▲持久走大会（秦梨小）

萬紅葉の絡みつく校舎の窓から、歌声が聞こえてくる。来る合唱コンクールに向けて、それぞれのクラスが熱心に練習を積み重ねている。

二ーは、仲間との絆の美しさを表すものであろう。苦心の末に得られるうれしさも悔しさも、全てかけがえのない青春の宝物である。



*子どもの人生が変わる放課後時間の使い方 島根 太郎
講談社 ¥1,000

心に残った一文

人間性だけはAIに置き換えることはできません。

著者は、AIの急速な発達により、これからは人間の「認知能力」よりも、「人間力」や「非認知能力」を高めるべきだと言う。そのような力を育む場を作りたいとの思いから、自ら学童保育を立ち上げた。そこでは「人間力」を育むための環境や活動に力を入れ、成果を上げている。

現在、中学校では地域ブロック部活動への移行が進み、小学校でも地域主体のスポーツや文化的活動についての検討が始まっている。人ととの関わりの中でしか得られない力が、確かに存在する。我々は、子供たちがそうした力を育む場を保障していかなければならない。

*子どもの行動を決める学級の「空気」 河村 茂雄
誠信書房 ¥2,000

*教師のいらない授業のなやみ方 若松 俊介
明治図書 ¥2,000

*日本が心配 P H P
養老 孟司
¥900

山中小学校 大久保孝治